

環境対応型難燃性革研究開発（飛革プロジェクト）
平成24年度実施方針

1．件名：環境対応型超難燃性革研究開発

2．根拠：定款第4条第2号

3．背景及び目的・目標

空輸業界では輸送コスト削減のための軽量化を指向、以て燃料費を抑えて競争力を高めている。こうした中、徹底したコスト削減を標榜するLCCは、座席に革を用いてメンテナンス代金を削減する傾向がある。

一方、インテリア関係では、安価な途上国革製品により消費者に皮膚炎が発症、EUにて原因となる化学物質規制が行われるなど、家具業界において環境や人体にやさしい革が求められる傾向がある

以上の見地から、航空機や車両座席、一般家具などの分野で需要が見込まれる環境対応型難燃性革を開発する。

4．開発課題・目標

環境や人体にやさしく、且つ難燃性を有する革の研究開発を行う。

- 1) JES基準をクリアすること
- 2) 航空業界などでの難燃性基準をクリアすること
- 3) 強度を犠牲としない軽量化を実現すること
- 4) 可能な限りの革の風合いを保つこと

5．事業内容

4．に掲げた開発課題について公募により委託者を選定し実施する。

6．事業規模

第1特別会計 初年度1100万円

（委託額1000万円-100% 工業所有権留保のため）

7．事業の実施方式

1) 公募媒体

JLIAホームページに掲載

2) 公募時期

平成24年6月中旬、1ヶ月程度を公募期間とする

3) 公募説明会を6月中旬頃実施する

8．採択方法

1) 審査方法

事業者の選定・審査は、公募要領に合致する応募を対象にJLIAが設置する審査委員会で行う。審査委員会（提案書守秘義務のため非公開）は、提案書の内容を評価し、本事業の目的の達成に有効と認められる事業者を選定・決定する。（申請者に対して必要に応じてヒア

リング等を実施するものとする。また、審査経過に関する問い合わせには応じない)

2) 公募締切から採択決定までの審査等の期間

公募締め切り日から14日以内を目途とする。

3) 採択結果の通知・公表

採択結果については、JLIAから申請者に通知する。なお、不採択の場合はその明確な理由を添えて通知する。通知の時期は6月中旬を予定する。また、採択案件については、申請者の名称、研究開発テーマの名称・概要をJLIAホームページで公表する。公表の時期は7月を予定する。

9. その他重要事項

1) 評価の方法

JLIAは、我が国の政策的・技術的観点及び事業の意義、成果及び普及の観点から事業評価を事業終了後、速やかに実施する。

2) 運営・管理

研究開発の効率的な運営・管理を図るため、研究開発の責任の所在を明確にする。また、開発目標に対しての達成状況などの報告を受け、必要に応じて弾力的に見直しを行う。

3) 複数年度契約の実施

本事業は単年度契約の形式とする。(例 事業計画3年の場合、各年度毎の契約締結を3回行う)

10. スケジュール

平成24年6月中旬	公募説明会・公募開始
7月中旬	公募締切
7月下旬	審査委員会
7月下旬	採択決定